



協体あさふ

「藤沢市体育協会広報」第44号

発行日 平成12年4月
発行・編集 藤沢市体育協会
〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-2
秩父宮記念体育館内



生涯スポーツの推進に 向けて

藤沢市教育委員会
生涯学習部長

金井 正志郎

四月に教育委員会生涯学習部長に就任いたしました金井です。

日頃、藤沢市体育協会の皆様には本市のスポーツ振興に多大なご尽力をいただき深く感謝をしております。

昨年は県総合体育大会で本市が総合優勝したとお聞きしましたが、関係者皆様の日頃からのご尽力の結果であると敬意を表します。

今年は二十世紀最後のオリンピックの年であり、何かと暗い世相の中で、明るい話題がシンドニーから届くよう願ってやみません。

さて、生涯スポーツの時代といわれて久しくなりますが、私の自宅近くの境川サイクリングロードでは文字どおり多勢の老若男女がジョギングやウォーキング、サイクリングを休日平日を問わず楽しんでるのを見ますと市民のスポーツや健康、体力づくりに対する関心が年々高まっていることを感じます。

しかし、スポーツに関心はあっても、時間がない、施設や指導者が少ないなどの理由により参加できない市民が多いのも現実です。

このような中で、文部省では生涯スポーツ推進の新しい施策として「総合型地域スポーツクラブ」のモデル事業を各地に進めています。イメージとしては、すでにヨーロッパ諸国のように地域の人々に自主的に運営され、子どもからお年寄りまで楽しめる多種目のスポーツクラブを設置するもので、行政としては学校などの公共施設の開放や指導者の養成、情報提供などの市民がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを行うことが役割となっています。

日本ではこのようなスポーツクラブが定着するまでに時間を要するかも知れませんが、新しい地域スポーツのあり方として研究をしていく必要があるのであるかと思っております。

す。
本市におきましても、市内スポーツ関係団体等民間のエネルギーとノウハウを結集して、生涯スポーツの一層の振興とスポーツ施設の効率的な運営をはかるため、市の出資による(仮称)財団法人藤沢市スポーツ振興財団設立の準備を進めております。

これまでも、財団設立にあたり多くのスポーツ団体等の意見が反映できよう、関係者の参画を得て検討を進め、多くのご意見をいただいております。

四月からは、さらに具体的事業計画や財団の組織、運営に関する検討を行うために財団設立委員会を設置し、内容を確定してまいりたいと思っております。

財団の設立は本年十二月を目標としておりますが、本市のスポーツ振興の中心的役割を担っていただいております体育協会の皆様には、財団が市民の期待に応えられるよう、また市民のための財団となるよう今後とも絶大な御支援をいただきたくお願い申し上げます。

おわりに体育協会の益々の御発展と、皆様の御活躍と御健勝を祈念いたします。ごあいさつとさせていただきます。

第15回 スポーツ人の集い

平成12年2月19日開催

2千年を迎えた今年、まだ冬の風残る二月、外気の冷たさからは遠く、スポーツに情熱を燃やす多くの人々が市民会館小ホールに集まり、熱気を帯びた「スポーツ人の集い」は盛況のなか無事終えることができた。

第一部の式典においては、長年スポーツ振興にご尽力頂いた功労者の方々、今年度最も活躍した選手並びに団体に「藤沢スポーツ賞」が授与された。体育功労者として「弓道」「山岳」「スキー」「野球」「サッカー」の五種目の役員に、競技の振興と発展が認められ、それぞれに表彰状が授与された。それに合わせてさらに13名の優秀選手と6団体、6名の敢闘選手、並びに7団体が受賞した。21世紀の各々のスポーツ競技を担う多くの若者と共にベテラン選手の受賞も多く、改めて長年の研鑽に対して敬意を表したい。さらに後人の指導育成にお力添え頂きたい思いである。

第二部の講演はバドミントン・バ
ルセロナオリンピック日本代表「森

スポーツライトのあたることのない地道な時間の積み重ねとそれを継続する自分との戦いが素直に感じられる。しかしそうした舞台裏があつてこそ、より一層感慨深い思いをもって臨んだであろう大舞台の数々を「楽しい競技人生だった」と語る柔らかな語り口に共感を覚えると共に、会場の多くの若者にさらなる目標が定まったであろうと想像する。

第三部レセプション会場では、森講師、各受賞者、来賓の方々と交えて、盛会裏に交歓会が行われた。



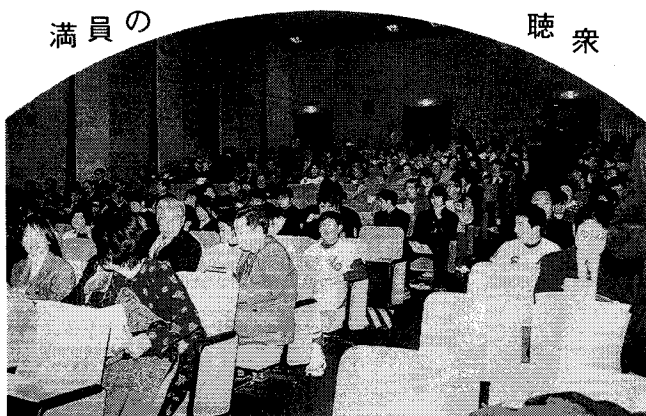
藤沢スポーツ賞のみなさん

- 権大会。全日本ローンコートベテランテニス選手権大会70歳以上男子シングルス優勝
- 川村 剛 神奈川県総合体育大会スキー競技大回転優勝
- 塩見芳彦 全日本ベテランテニス選手権大会50歳以上ダブルス準優勝
- 首藤智恵 全日本バウンドテニス選手権大会女子シングルス優勝
- 添田 豪 全日本ジュニア選手権大会16歳以下男子シングルス・ダブルス優勝。全国中学生テニス選手権大会男子シングルス優勝
- 高岸知代 全国選抜ジュニアテニス選手権大会女子シングルス優勝
- 中原健一郎 全国選抜ジュニアテニス選手権大会兼ワールドジュニアテニス99代表選考会及び全日本ジュニアテニス選手権14歳以下男子シングルス優勝
- 平塚陽一郎 全国高校卓球選手権大会ダブルス準優勝
- 広瀬 稔 全日本ローンコートベテランテニス選手権男子45歳以上ダブルス優勝
- 藤原通孝 ヨット競技国際モス級世界選手権出場
- 和田太一 全国選抜ジュニアテニス大会男子シングルス・ダブルス優勝。全日本ジュニアテニス選手権大会ダブルス優勝

優秀団体

県総体卓球競技藤沢市チーム 県総体三年連続優勝

- ル大会県予選優勝
- 日本大学藤沢高等学校サッカー部 全国高校サッカー選手権大会県予選優勝
- 藤沢市立鶴沼中学校ソフトボール部 神奈川県中学校総合体育大会優勝
- 藤沢クラブ 全日本九人制バレーボール総合男子選手権大会神奈川県予選優勝
- 藤沢市ジュニアラグビースクール中学生 神奈川県少年ラグビーフットボール大会優勝



聴衆の満員

【県下駅伝競走大会】

◇三浦半島県下駅伝競走大会
平成12年1月16日実施
参加14チーム
藤沢市Aチーム 5位(中村洋輔、

久子」さんを講師に迎え、「私とバドミントン」のテーマのもとお話しただいた。バドミントンは多くのスポーツ競技の中では比較的一般市民に浸透した種目である。しかし意外にその「ハードさ」は知られていない。まず消費エネルギーがいかに大きいかというご説明のもとバドミントン競技の奥深さを語られた。強靱な肉体と精神力、特に集中力が求められる競技であることを想像しながらも壇上の森女史は終始笑顔を保ち、どちらかという華奢な風貌に驚かされた。



スポーツには生まれながらに備わる才能も必要である。しかしそれだけではオリンピックまで到達しない。舞台裏の、決して華やかではない、

体育功労者

井上 吉男



弓道協会会長
藤沢における弓道の普及・振興に尽力

尾崎 樹仙



山岳協会会長
登山の普及振興に協会の核となり尽力

佐藤 嘉彦



スキー協会会長
指導力を発揮し、協会の発展に寄与

杉山 喜一郎



野球協会
副理事長時中心となり、今日の野球協会事務局の基礎を築く

番場 定孝



サッカー協会会長
卓越した指導力で藤沢のサッカーをリード

優秀選手

石井 美どり

神奈川県総合体育大会
陸上競技女子100m・200mに優勝

石原 亮祐

全国高校卓球選手権大会
ダブルス準優勝

川内 道雄

日本ベテランテニス選手

県総体バスケットボール競技藤沢市チーム 県総体優勝

県総体女子バレーボール競技藤沢市チーム 県総体優勝

県総体男子ボウリング競技藤沢市チーム 県総体優勝

湘南工科大学附属高等学校卓球部
全国高校卓球選手権大会男子団体準優勝。関東高校卓球選手権大会男子団体優勝

藤沢 関東家庭婦人バレーボール大会優勝

敢闘選手

阿部 進 神奈川県高校卓球選手権大会ダブルス優勝

尾形 秀 神奈川県空手道選手権大会少年男子組み手競技優勝

川島 悠也 神奈川県高校卓球選手権大会ダブルス優勝

木村 いおな 神奈川県空手道選手権大会成年女子形競技優勝

中村 洋輔 神奈川県高校総合体育大会陸上競技男子5000m優勝

原 佳洲美(弓道) 神奈川県民大会兼国体予選会優勝

〈団体〉

遠藤少年野球クラブ 全日本学童軟式野球大会県大会優勝

湘南工科大学附属高等学校体操部
神奈川県体操競技選手権大会団体部の優勝

湘南フジラグビーフットボールクラブ
東日本クラブラグビーフットボール

原田賢輔、田村知一、小野友成、寺田愛弓
藤沢市Bチーム 8位(原田京、原田拓、高出康平、森本正、安藤紀子)
◇かながわ駅伝(市町村対抗)競争大会
小田原から相模湖までの十区間
平成12年2月13日実施
藤沢市 9位(生井怜、原田京、中村洋輔、原田拓、安藤紀子、原田賢輔、須藤慶太、森本正、小野友成、小菅二)

[70.2m]

藤沢市のチームは、今までの実績から今回は不本意な成績と思いますが、今回の健闘を期待します。

「トピックス」

ジュニアラガー藤沢から
世界へ羽ばたく！
小吹祐介君
(法政二高ラグビー部)

藤沢ジュニアラグビースクール出身の小吹祐介君が、高校ジャパンに選抜され、ウェールズ・フランスへ遠征します。初めての海外遠征とのことですが、世界のラグビーを肌で感じ、各国のスポーツ人と交流を深める大きなチャンスです。将来の全日本代表を期待しましょう。

平成11年度賛助会員

個人 252件
団体 43件

〔個人会員の芳名〕(順不同・敬称略)

福島勝也・渡辺絢子・野沢菊三郎・丸山正芳・小滝守夫・林良雄・横山浩一・山本哲雄・臼井文夫・今井渡橋本宰俊・佐野由美子・下田喜久枝熊山琴江・小林美枝・沼上正・関根弘道・土屋保三・徳増久夫・石井皓加藤美佐子・篠原正徳・関根紀男・伊東満・熊谷卓三・後藤雅弘・木村英勇・木村久乃・川路久男・坂田隆松本益雄・小池正子・植田満・井上仁一・吉岡隆子・山崎智昭・前田透鈴木成明・西山一郎・加藤誠・小林金之・佐藤清義・堀川春子・高科明大隅文夫・宮治政弘・田中美保子・渡辺武司・柿沼末子・瀬川進・井上広男・野田勇二・野田豊子・黒田裕大井正信・鷹崎久雄・山田勉・竹内真佐子・岩田三郎・飯島和男・米山ユリ・久木田善蔵・野上新一・藤田正辰・中山二郎・樹居祐三・小林英見・大房英一・大津孝雄・與安義昭飯塚健児・山本幸男・林一枝・中山正人・木村克子・藤方富士夫・梅井和哉・西島一光・熱田真一・佐藤明由・小林志光・栗原義夫・脇田文雄木島英夫・武井英雄・小田原昭雄・

平沢信雄・荒井勝男・松久保六男・瀧川一輝・杉山惠美・杉沢武・寛村董子・高科利子・栗原幸正・滝内一夫・橋本篤治・番場定孝・関根智治山口幸雄・小野隆弘・中嶋修・服部忠幸・鈴木恒夫・蔵内隆良・木村三男・安斎久雄・宮治敬二・神原勇人小野直樹・加藤賢治・有田茂・中尾是雄・高梨淳一・小路口一生・高橋孝雄・高橋一順・鴻野久雄・金田育鈴木敏之・倉幸一・木村裕・比留川久満・西島眞吾・浜田徹・小泉勝彦伊藤喜三郎・鈴木得郎・小林隆三郎矢部重信・渡辺博美・鹿島昇・内田敬治・山本敏秋・鈴木一郎・小池保新戸利和・桑原勇三・露木栄・上笹健治・関雅行・篠原末晃・薩田猛・石井功・桑原隆行・石井勝・川村剛大原晴夫・大縫光宏・西甲・表隆行竹内俊樹・大谷浩・桐生昭代・小野孝一・高橋陽之助・蝶名林睦・竹内美恵子・坂尻茂・瀬戸満里子・清水久雄・鳥塚キヌ子・宮本謙一・澤野隆男・松吉吉三郎・林信好・今井茂西富久子・野澤正三・富田修・石塚俊子・山本共恵・田内彰子・前嶋紀子・石井政敏・加藤新三・林富士夫遠藤満寿夫・進藤正吉・倉石智郎・石塚妙子・土屋小夜子・石曾根亮二川崎涉・山田貢・根崎務・戸部秀和岡本義友・長谷川辰夫・田中淳子・内山勝・広瀬稔テニス・浦中潮・藤

田佳也・岩淵元・伊藤久樹・友井川勇森山実・武井創・広瀬稔(空手)・前田明男・杉山保・河合正博・渡辺英一・小川明・波多野和敬・中村智・東沢武彦・永島修治・諸節寛行・早川吾朗・高野昇一・加瀬良一・杉山勝彦熊山喜三郎・平井浩一・赤根照一・市川誠人・佐藤和義・渡辺達志・山本哲也・伊沢将悟・野口徳儀・設楽孝治・吉田信行・校條紳一・林幹雄小阪康司・嶋田和夫・遠藤信一・畑広幸・関水正文・松岡邦宏・井上学小菅春夫・長嶋洋司・鈴木正美・田中義隆・村田静江・星野剛士・山門誉宗・関野治夫・灰野辰男・山田康章・小堺幸子・佐々木保・久保寺久雄・桜庭美佐子・渡辺嘉伸・熊沢昇近藤善次郎・豊島亜彦

〔団体会員の芳名〕(順不同・敬称略)

ラグビーフットボール協会・弓道協会グラウンドゴルフ協会・バドミントン協会・三浦藤沢信用金庫・中央機工(株)・大安興業(株)・ゴルフ協会・日本精工(株)・バレエボール部・水泳協会・バウンドテニス協会・空手道連盟・野球協会・修武館伊沢道場・サッカー協会藤沢市職員福利厚生会・山岳協会・バスケットボール協会・ソフトボール協会ゲートボール連合・藤沢スキークラブ太極拳連盟・秩父宮クラブ・テニス協会・体操協会・杉山スポーツ・アーチェ

りー協会・藤沢市軟式庭球部・ソフトテニス協会・柔道協会・小泉勝彦・(株)富士鉄録・剣道連盟・藤沢市体育指導委員協議会・スキー協会・ハンドボール協会・湘南セーリングクラブ・ヨット協会・ボウリング協会・関水スポーツ・バレエボール協会・藤沢家庭婦人バレエボール連盟・茅ヶ崎ソフトテニスクラブ

(種目協会については藤沢市略)

本年度も
ご入会いただき
ありがとうございました

編集後記

目のかゆみ・くしゃみ・鼻水と花粉に悩まされる季節の編集でした。スポーツ人の集いが紙面の大半を占め、藤沢におけるスポーツの躍動を感じました。

一面は「生涯スポーツの推進に向けて」というテーマで、生涯学習部長に記事をお願いしました。

藤沢市のスポーツの普及と振興にはたす体協の役割の重要性を改めて考え、そしてスポーツ環境の今後がますます楽しみです。

編集委員 小阪・伊沢理事

